

令和2年度用「小学算数」5年 年間指導計画作成資料（案）

令和2年6月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 単元ごとの配當時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準については、小社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

【本資料の見方】

◆**配当時間数**

黒字は、**平時の授業時間数**を示しています。

赤字は、**学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動**(〔以外〕)を併用して指導する場合を示しています。

3 2つの量の変わり方		5月上旬～中旬 (5時間⇒4時間+〔以外〕) p.34～41						
◆ 単元の目標と評価規準								
○簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの量の関係について表や式を用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度を養う。【 学習指導要領との関連 A(6)ア(ア), A(6)イ(ア), C(1)ア(ア), C(1)イ(ア)】								
・簡単な場合について比例の関係があることを知るとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めている。<知・技>								
・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。<思・判・表>								
・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>								
◆ 指導計画と観点別評価規準								
時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項			
3	3		①② 伴って変わる2つの量の関係について、表を用いて考察し、比例の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 「変わり方を調べよう！」の活動をきっかけに、一方の数量が変わるときもう一方の数量の変わり方を調べることに興味をもつ。 ストローで正方形を横につなげた形を作るときの、正方形の個数とストローの本数の関係を表に表して調べる。 底面積が一定の直方体の、高さと体積の関係を表に表し、変わり方を調べ、比例の意味を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習で、p.34の「変わり方を調べよう！」、及びp.35の葉1、葉2に取り組み、それぞれの表を作り、「はてな？」のフキダシについて自分の考えをもつ。 授業では、予習をもとにp.35の「はてな？」のフキダシについての発表・話し合いから取り組み、p.37までを1時間で指導することが考えられる。 授業後に、〔以外〕の学習活動としてp.37の□1に取り組む。 			
	4					③ 2つの量の関係を○、△を用いた式に表し、変わり方を調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな2つの量の関係を○、△を用いた式に表し、○と△の変わり方を表に表して調べる。 	
	5							
1	4	学んだことを使おう	④ 伴って変わる2つの量の関係を表や図を用いて考察し、その関係を式に表して問題を解決することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 「もっと変わり方を調べよう！」という目的意識から、ストローで正方形を横につなげた形を作るときの、正方形の個数とストローの本数の関係を表や図、式に表して調べ、正方形を50個作るときに必要なストローの本数を求める。 				
1	4	まとめ	⑤ 学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 〔以外〕の学習活動として取り組む。 わからない問題があれば個別に支援する。 			

◆〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
〔以外〕における予習・復習の例や、それらを踏まえて授業時間数を更に削減する場合の例を示しています。学校や地域の実態に応じて、適宜ご参照ください。

◆**赤い網掛け部分**

〔以外〕で取り組むこととする学習活動は、赤い網掛けで示しています。

* は「発展的な学習内容」を含む箇所

★ は教育出版のWebサイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

● 算数をはじめよう！／2つに分けよう

4月上旬（2時間）

p.2～9

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	2 5 9	算数をはじめよう！／算数で使いたい考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「算数をはじめよう！」及び「算数で使いたい考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	・予習で、教科書を読み、「学びを深める大切な言葉」、「学習の進め方」、及び「算数で使いたい考え方」を確認する。
		2つに分けよう		・「2つに分けよう」の問題に取り組み、形も面積も同じ(合同)になるように2等分する分け方を見つける。	・予習で、p.7の「問題をつかむ」、及び「自分の考えをもつ」段階まで取り組む。 ・授業では、「みんなで話し合う」、及び「ふり返る」段階に重点をおく。 ・「広げて考える」段階は[以外]の学習活動として取り組み、第1・2時を1時間で指導することが考えられる。

1 整数と小数

4月上旬～中旬（3時間⇒2時間+[以外]）

p.10～15

◆単元の目標と評価規準

○整数及び小数の表し方を理解し、そのしくみについてまとめたり、数と式の表現や計算などに有効に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア), A(2)イ(ア)】

- ・整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ 、 $1/100$ などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。<知・技>
- ・整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。<思・判・表>
- ・整数や小数について、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	1 0 1 4		①小数は整数と同じ十進位取り記数法によって表されていることを理解する。	・「何km走るのかな？」の活動をきっかけに、北町子どもマラソンで走る道について小数の加法の筆算のしかたを振り返る。また、その道のり1.95kmと42.195kmの数字の並びに着目し、数のしくみに興味をもつ。 ・42.195と1.95の数のしくみを調べることをとおして、どんな整数や小数も、0から9までの10個の数字と小数点を使って表せることを知る。	
			②10倍、100倍や、 $1/10$ 、 $1/100$ などの大きさの数を作り、それらの関係を小数点の位置の移動に着目して理解する。	・0.195を何倍すると1.95になるかを考えることをとおして、整数や小数を10倍、 $1/10$ にすることの小数点の移り方をまとめる。	
1 (0)	1 5	まとめ	③学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[コンピュータは数で動く?](p.278)★	・選択的活動として、コンピュータに文字や絵を映し出すのに使われている数のしくみ(二進法)を知り、まず目と数字を使って絵をかく。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:コンピュータは数で動く？」

2 体積

◆単元の目標と評価規準

○立体図形の体積について理解し、直方体や立方体の体積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、体積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(4)ア(ア)(イ)、B(4)イ(ア)】

- ・体積の単位「 cm^3 、 m^3 」と測定の意味、単位の関係について理解し、直方体及び立方体の体積を公式を用いて求めることができる。
- <知・技>
- ・体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えているとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。<思・判・表>
- ・直方体や立方体の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項	
9	1 6 5 2 8	直方体や立方体の体積	①体積の意味、体積の単位「 cm^3 」を理解する。	・「どちらが大きいかな？」の活動をきっかけに、直方体と立方体の大きさを数で表すことに関心をもつ。 ・直方体と立方体の大きさを比べることをとおして、体積の比較・測定のしかたや意味について考える。 ・体積の単位「立方センチメートル(cm^3)」を知る。	・予習で、p.16の「どちらが大きいかな？」に取り組み、p.305の展開図を組み立てる。	
		(大きな体積の単位)	②直方体の体積を計算で求めるしかたを理解する。	・直方体の体積を計算で求めるしかたを考える。(p.30～31の[友だちのノートを見よう]も扱う。)		
			③立方体の体積を計算で求めるしかた、及び直方体と立方体の体積の公式を理解する。	・立方体の体積を計算で求めるしかたを考える。 ・直方体と立方体の体積を計算で求めるしかたを公式にまとめる。		
			④⑤体積の単位「 m^3 」を理解する。また、「 m^3 」と「 cm^3 」の関係を理解する。	・大きなものの体積は、1辺が1mの立方体の体積を単位にして表すとよいことを知り、体積の単位「立方メートル(m^3)」を知る。 ・ 1m^3 と 1cm^3 の関係を調べ、 $1\text{m}^3=1000000\text{cm}^3$ を知る。	・授業では、p.23～24の葉4、葉5を扱い、第4・5時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.24の□5、□6に取り組む。 ・「 1m^3 を作ってみよう」の活動は休み時間などを利用して扱うことで、算数科としては時数に含めないことが考えられる。	
			[1m^3 を作ってみよう]	・ひもを使って1辺が1mの立方体を作ることをとおして、 1m^3 の大きさを体感する。		
			(容積)	⑥容積、内りのりについて理解する。	・直方体の形をした入れ物に入る水の体積を考えることをとおして、容積、内りのりの意味を知る。	
			⑦「L」と「 cm^3 」の関係を理解する。	・1Lと 1cm^3 の関係を調べ、 $1\text{L}=1000\text{cm}^3$ を知る。 ・ $1\text{m}^3=1000\text{L}$ 、 $1\text{mL}=1\text{cm}^3$ を知る。		
			⑧長さ、面積、体積の単位の関係をまとめ、理解を深める。	・長さ、面積、体積の単位の関係をまとめ、まとめる。		
			[石の体積を求めよう]	・石のような不定形の体積を、石を水槽に沈めたときに増えた水の体積に置きかえて求める。		
			(体積の公式を使って)	⑨複合図形の体積の求め方を考え説明し、体積の公式についての理解を深める。	・直方体を組み合わせた形の体積の求め方を考え、図や式、言葉などを用いて説明する。	
1	2 9 3 1	学んだことを使おう	⑩日常生活の場面と関連づけて、体積の学習を活用することができる。	・「おかしを多くつめよう！」という目的意識から、直方体の形をした菓子や条件に合うようにいちばん多く詰められる箱を考え、その数を求める。		
		[友だちのノートを見よう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	・第2時の授業後に、[以外]の学習活動としてp.30～31を読み、ノートの書き方を確認する。		
1 (0)	3 3	まとめ	⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。	

3 2つの量の変わり方

5月上旬～中旬 (5時間⇒4時間+[以外])
p.34～41

◆単元の目標と評価規準

○簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量の関係について表や式を用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア), A(6)イ(ア), C(1)ア(ア), C(1)イ(ア)】

- ・簡単な場合について比例の関係があることを知るとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めている。<知・技>
- ・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。<思・判・表>
- ・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	3 4 3 9		①②伴って変わる2つの数量の関係について、表を用いて考察し、比例の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「変わり方を調べよう！」の活動をきっかけに、一方の数量が変わるときのもう一方の数量の変わり方を調べることに興味をもつ。 ・ストローで正方形を横につなげた形を作るとき、正方形の個数とストローの本数の関係を表に表して調べる。 ・底面積が一定の直方体の、高さと体積の関係を表に表し、変わり方を調べ、比例の意味を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習で、p.34の「変わり方を調べよう！」、及びp.35の葉1、葉2に取り組み、それぞれの表を作り、「はてな？」のフキダシについて自分の考えをもつ。 ・授業では、予習をもとにp.35の「はてな？」のフキダシについての発表・話し合いから取り組み、p.37までの第1・2時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.37の□1に取り組む。
			③2つの数量の関係を○、△を用いた式に表し、変わり方を調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな2つの数量の関係を○、△を用いた式に表し、○と△の変わり方を表に表して調べる。 	
			[数直線と比例]	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法の数直線は、一方の数量が2倍、3倍、…になると、もう一方の数量も2倍、3倍、…になる比例の関係を表していることを知る。 	
1	4 0	学んだことを使おう	④伴って変わる2つの数量の関係を表や図を用いて考察し、その関係を式に表して問題を解決することができる。(y=ax+bの関係)	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと変わり方を調べよう！」という目的意識から、ストローで正方形を横につなげた形を作るとき、正方形の個数とストローの本数の関係を表や図、式に表して調べ、正方形を50個作るときに必要なストローの本数を求める。 	
1 (0)	4 1	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

■ 2000cm³を作ろう

5月中旬 (1時間)
p.42

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	4 2		①体積の公式について理解を深め、体積についての感覚を豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・体積が2000cm³の直方体について、2000を3つの数の積と捉え、縦、横、高さの3辺の長さの組み合わせを考える。 ・体積が2000cm³の立体を、直方体以外でも考えて作る。 	

◎ ふくしゅう①

時	頁	学習活動
4 3		<ul style="list-style-type: none"> ・第4学年「立体」「分数の大きさとたし算、ひき算」の復習をする。 ・単元4「小数のかけ算」、単元6「小数のわり算」に関わる既習事項を確認する。

5月中旬～下旬（10時間⇒9時間+[以外]）

p.44～56

4 小数のかけ算

◆単元の目標と評価規準

○乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ), A(3)イ(ア), A(6)ア(ア)】

- ・乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。<知・技>
- ・乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・小数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
9	4 4 5 5 4	(積の大きさ)	①② 整数×小数の意味と計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「代金を予想しよう！」の活動をきっかけに、場面図からリボンの長さとお金を予想し、リボンの長さが小数になる場合に関心をもつ。 ・1m80円のリボン2.3mの代金を求める場面、乗数が小数でも乗法の式に表せる理由を考える。 ・80×2.3のような、整数×小数の乗法の計算のしかたを考える。 	
			③ 整数×純小数の計算のしかたを理解する [算数のミカタ]	<ul style="list-style-type: none"> ・80×0.6のような、整数×純小数の乗法の計算のしかたを考える。 ・新しい計算のしかたを考えるとき、小数を10倍するなどして、整数の計算とみる見方をしたことを振り返る。 	
			④ 小数×小数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1.8×4.2のような、小数×小数の乗法の計算のしかたを考える。 ・小数×小数の筆算のしかたを考える。 	
			⑤⑥ 被乗数や乗数が1/100の位までの小数の乗法の計算のしかたを理解し、小数の乗法の筆算のしかたをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・8.93×2.6のような、被乗数と乗数の一方が1/100の位までの小数の乗法の計算のしかたを考える。 ・0.24×0.13のような、被乗数と乗数の両方が1/100の位までの小数の乗法の計算のしかたを考える。 ・小数の乗法の筆算のしかたをまとめる。 ・7.05×0.48のような、積の末位が0になる場合の乗法の計算のしかたを考える。 	
			⑦ 乗数と積の大きさの関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1m200円のリボン1.4mと0.6mの代金を、1mの値段200円と比べることをとおして、乗数が1より小さいとき、積は被乗数より小さくなることを知る。 	
			⑧ 辺の長さが小数でも、面積や体積の公式が適用できることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・辺の長さが小数で表されている長方形の面積や直方体の体積の求め方を考え、小数の場合も面積や体積の公式を用いることができることを知る。 	
			⑨ 小数の場合でも、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形を2つに分けた図の面積の求め方を比べることをとおして、小数の場合でも分配法則が成り立つことを説明する。 ・小数の場合でも、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを知る。 	
1 (0)	5 5 6	まとめ	⑩ 学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

◎ ふくしゅう②

頁	学習活動
5 7	・「整数と小数」「体積」の復習をする。 ・単元5「合同と三角形、四角形」に関わる既習事項を確認する。

5 合同と三角形、四角形

6月上旬～下旬（14時間⇒13時間+[以外]）

p.58～77

◆単元の目標と評価規準

○図形の合同について理解し、図形間の関係を合同の観点で考察したり、合同な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、三角形や四角形などの内角の和の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ), B(1)イ(ア)】

- ・図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が 180° になることや、四角形や多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。<知・技>
- ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。<思・判・表>
- ・図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
7	5 8 6 7	(合同な図形の かき方)	① 合同の意味を理解する。	・「ぴったりはまる形はどれかな？」の活動をきっかけに、形も大きさも同じ三角形に関心をもつ。 ・形も大きさも同じ四角形について調べることをとおして、合同の意味を知る。	・予習で、p.58～59の「ぴったりはまる形はどれかな？」、及び葉1に取り組む。 ・授業では、予習をもとにp.59の「はてな？」のフキダシから取り組み、p.61までの第1・2時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.61の□1、□2に取り組む。
			② 合同な図形の対応する頂点、辺、角について理解する。	・合同な図形の対応する頂点、辺、角について知り、対応する辺の長さ、対応する角の大きさを調べる。	
			③ 四角形に対角線をかいたときにできる三角形について合同の観点から調べ、平面図形についての理解を深める。	・ひし形、平行四辺形などの四角形に対角線をかいたときにできる三角形について、合同の観点から調べる。	
			[算数のミカタ]	・図形の特徴を調べるとき、これまでの見方に加えて、合同という観点に着目したことを振り返る。	
			④⑤ 合同な三角形の作図に必要な要素を考え、作図することができる。	・合同な三角形を作図するために必要な要素に着目し、作図のしかたを考える。	
			⑥ 合同な三角形が作図できる要素について理解を深める。	・辺や角の大きさがいずれか3か所示されている三角形を見て、それらの要素で合同な三角形を作図できるか考える。	
			[三角形が1つに決まらない場合]	・2つの辺の長さ1つの角の大きさという要素だけでは、三角形の形が1つに決まらない場合があることを知る。	
⑦ 合同な四角形を作図することができる。	・合同な四角形を作図のしかたを考える。				
[図形が決まるということ]	・図形が「決まる」という意味を知り、長方形やひし形などの図形が決まる要素について考える。				
		三角形や四角形の角	⑧⑨ 三角形の3つの角の大きさの和が 180° であることを、帰納的に考えて見いだすことができる。	・三角形をまっすぐに並べる活動をとって、角の大きさのきまりについて見直しをもつ。 ・三角形の3つの角の大きさの和を、分度器で測ったり、切り取って並べたりして調べ、 180° であることを説明する。	
		[算数メモ]*	・図形の「内角」の意味を知る。		

5	6 8 7 4		⑩ 四角形の4つの角の大きさの和が 360° であることを、演繹的に考えて見いだすことができる。	・四角形の4つの角の大きさの和を、分度器で測るなどして調べるとともに、対角線で三角形に分けることで、どんな四角形でも 360° であることを説明する。	
			⑪ 多角形の意味を知り、五角形、六角形、…の内角の和の求め方を説明することができる。	・多角形の内角の和について、多角形を対角線でいくつかの三角形に分けるなどして調べる。 ・五角形、六角形、…の内角の和を表に整理する。	
			⑫ 三角形や四角形の内角の和の性質をもとに、未知の角の大きさを求めることができる。 合同な四角形を敷き詰める活動とおして、図形についての感覚を豊かにする。	・三角形や四角形で1つの角の大きさが未知の場合に、内角の和の性質をもとに、その角の大きさを求める。 ・合同な四角形の4つの角をどのように合わせればよいかを考えながら、四角形を平面に敷き詰める。	・[以外]の学習活動としてp.74の葉11に取り組み、作品及び気づいたことをノート等にまとめる。 ・授業では、p.74の葉10、及びp.75「いろいろな角度を求めよう！」の①までの第12・13時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.75の②に取り組む。
1	7 5	学んだことを使おう	⑬ 身のまわりから三角形を見だし、その角の求め方を筋道を立てて考え、説明することができる。	・「いろいろな角度を求めよう！」という目的意識から、公園の遊具の形の中に三角形を見だし、実測できないところの角度を三角形の内角の和の性質を用いて求める。	
1 (0)	7 6 5 7 7	まとめ	⑭ 学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[しきつめ画家になろう!](p.279)★	・選択的活動として、美術やデザインの世界では合同を活用した敷き詰め模様があることを知り、そのしきつめ模様をかく。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:しきつめ画家になろう！」

★まなびリンク 資料「広がる算数:いろいろなしきつめ模様の作品(藤田伸のページ)」

6 小数のわり算

6月下旬～7月中旬 (14時間⇒13時間+[以外])
p.78～94

◆単元の目標と評価規準

○除数が小数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ), A(3)イ(ア), A(6)ア(ア)】

- ・除数が小数である場合の除法の意味や、あまりの大きさについて理解し、小数の除法の計算ができる。また、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。<知・技>
- ・除法の意味に着目し、除数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・小数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
			①② 整数÷小数の意味と計算のしかたを理解する。	・「1mのねだんを予想しよう！」の活動をきっかけに、場面図からもとのリボンの長さや1mの値段を予想し、もとのリボンの長さが小数になる場合に関心をもつ。 ・1.6mで96円のリボン1mの値段を求める場面で、除数も小数でも除法の式に表せる理由を考える。 ・ $96 \div 1.6$ のような、整数÷小数の除法の計算のしかたを考える。	
			③ 整数÷純小数の計算のしかたを理解する。	・ $96 \div 0.8$ のような、整数÷純小数の除法の計算のしかたを考える。	
			④ 小数÷小数の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・ $4.2 \div 3.5$ のような、小数÷小数の除法の計算のしかたを考える。 ・小数÷小数の筆算のしかたを考える。	

1 3	7 8 9 2	(商の大きさ)	⑤被除数が1/100の位までの小数の除法の計算や、商の一の位が0になる場合の除法の計算のしかたを理解する。	・3.45÷1.5のような、被除数が1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。 ・0.63÷1.8のような、商の一の位が0になる除法の計算のしかたを考える。	
			⑥除数が1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを理解し、小数の除法の筆算のしかたをまとめる。	・8.547÷2.31のような、除数が1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。 ・小数の除法の筆算のしかたをまとめる。	
			⑦1/10の位までの小数÷1/100の位までの小数の除法の計算や、整数÷小数の除法の計算のしかたを理解する。	・7.8÷3.25のような、1/10の位までの小数÷1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。 ・4÷2.5のような、整数÷小数の除法の計算のしかたを考える。	
			⑧除数と商の大きさの関係を理解する。	・1.5mで300円のリボンと0.5mで300円のリボンの1mの値段を、もとの代金300円と比べることをとおして、除数が1より小さいとき、商は被除数より大きくなることを知る。	
			⑨商を四捨五入して概数で表す場合の除法の計算のしかたを理解する。	・1.2÷1.8のような計算で、商を四捨五入して概数で求めるしかたを考える。	
			⑩小数の除法のあまりの大きさについて理解する。	・2.3mのテープを0.5mずつ切る場面で、商を整数まで求め、あまりを出す場合の小数の除法の計算のしかたを考える。	
			⑪基準量や比較量が小数の場合に、何倍かを求めることができる。(第一用法)	・9.5cmは7.6cmの何倍かを求めるしかたを考える。	
(倍の計算)	⑫比較量や倍を表す数が小数の場合に、基準量を求めることができる。(第三用法)	・あるペンキを1.2倍に薄めて5.4Lにするときの、もとのペンキの量の求め方を考える。			
	⑬ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を、倍を用いて比べることができる。	・1964年から2016年にかけて、オリンピックの選手数とパラリンピックの選手数のどちらの増え方が大きいかを考え、それぞれ約何倍になったかを求めて比べる。			
1 (0)	9 4 3 5	まとめ	⑭学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

■ ご石の教え方

7月中旬 (1時間)

p.95

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	9 5		①具体的な事柄を式に表したり、式に表されている関係をよみ取ったりして、式についての理解を深める。	・正方形に並べた基石の数の求め方を、図と式を関連づけて説明する。 ・正方形の問題を発展させて、三角形に並べた基石の数の求め方を、図と式を関連づけて説明する。	

◎ ふくしゅう③

頁	学習活動
9 6	・「2つの量の変わり方」「合同と三角形、四角形」「小数のわり算」の復習をする。

7 整数の見方

9月上旬～中旬（11時間⇒10時間+[以外]）
p.97～112

◆単元の目標と評価規準

○偶数と奇数、倍数、約数など整数の性質について理解し、観点を決めて整数を分類するしかたを考えたり、数の構成について考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、整数の性質に着目することのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ), A(1)イ(ア)】

- ・整数は観点を決めると偶数と奇数に類別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。<知・技>
- ・乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を分類するしかたを考えたり、数の構成について考察したりしているとともに、日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・整数の性質や整数の構成を調べることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	9 7 5 1 0 0	偶数と奇数	①②偶数と奇数の意味、性質を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どちらの組になるのかな？」の活動をきっかけに、出席番号を2つの組に分ける観点に関心をもつ。 ・赤組と白組に分けた数の集合の特徴を捉え、それぞれ2でわったときのあまりに着目し、偶数、奇数の意味を知る。 ・数直線で偶数と奇数の並び方を調べ、すべての整数は偶数と奇数のどちらかに分けられることを知る。 	
			[3つの組に分けると…]	<ul style="list-style-type: none"> ・出席番号順に赤組、白組、青組に分けた数をそれぞれ3でわり、そのあまりに着目して整数を3つの組に分けるしかたを考える。 	
			③偶数と奇数の性質について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数と奇数の性質に着目して、偶数と奇数の和が奇数になる理由を考える。 	
			[九九の答えはどちらが多い?]	<ul style="list-style-type: none"> ・九九表を見て、九九の答えは偶数と奇数のどちらが多いか調べる。 	
4	1 0 1 5 1 0 6	倍数	④倍数、公倍数の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1袋3本入りのソーセージと1袋4本入りのパンをそれぞれ何袋か買う場面をとおして、倍数、公倍数の意味を知る。 	
			⑤公倍数を求めることができる。また、最小公倍数の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・6と9の公倍数の見つけ方を考える。 ・最小公倍数の意味を知る。 	
			⑥3つの数の公倍数を求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・2と4と6のような3つの数の公倍数を、数直線を用いて見つける。 	
			[3や9の倍数の不思議]	<ul style="list-style-type: none"> ・ある整数が3や9の倍数であるかを簡単に調べる方法を知る。 	
			⑦日常生活の場面から公倍数の関係を見だし、問題の解決に公倍数の性質を活用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・縦6cm、横8cmの長方形のタイルを隙間なく並べて、できるだけ小さい正方形を作る場面を、正方形の1辺の長さを公倍数を用いて考える。 	
			[倍数のもよう]	<ul style="list-style-type: none"> ・100までの数表を使って、2の倍数などに印をつけ、倍数の並び方を調べる。 	
3	1 0 7 0 5	約数	⑧約数、公約数の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・プラム12個とバナナ8本をそれぞれあまりがなく分ける場面をとおして、約数、公約数の意味を知る。 	
			⑨公約数を求めることができる。また、最大公約数の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・12と16の公約数の見つけ方を考える。 ・最大公約数の意味を知る。 	
			[約数のしくみ]	<ul style="list-style-type: none"> ・12の約数では、1×12、2×6、3×4のように、2つの約数どうしの積が12になっていることを知る。 	

			⑩日常生活の場面から公約数の関係を見だし、問題の解決に公約数の性質を活用することができる。	・縦12cm, 横18cmの長方形の工作用紙をあまりがないように同じ大きさの正方形に切り分ける場面で、正方形の1辺の長さを公約数を用いて考える。	
1 (0)	1 1 2	まとめ	⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。 ・[以外]の「はってん」扱いの学習活動として選択的に取り組む。
			[不思議な整数 素数って何?]* (p.280) ★	・選択的活動として、素数について知り、「エラトステネスのふるい」という方法を用いて素数を見つける。	

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:不思議な整数 素数って何？」

8 分数の大きさとたし算, ひき算

9月中旬～10月上旬 (9時間⇒8時間+[以外])
p.113～125

◆単元の目標と評価規準

○分数の意味と表し方について理解を深め、分数の相等や大小関係について考える力を身につけるとともに、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ウ)(エ), A(4)イ(ア), A(5)ア(ア), A(5)イ(ア)】

- ・分数の分母, 分子に同じ数を乗除してできる分数は, もとの分数と同じ大きさを表すことや, 分数の相等及び大小について理解し, 大小を比べることができる。また, 異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>
- ・数を構成する単位に着目し, 数の相等及び大小関係について考察している。また, 分数の意味や表現に着目し, 異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・分数の意味と表し方, 異分母の分数の加法及び減法について, 数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	1 1 3 1 1 8	分数の大きさ (約分) (通分)	①大きさの等しい分数の表し方を考え, 分数の性質を理解する。	・「どちらが大きいかな?」の活動をきっかけに, 分数の大きさを比べることに興味をもつ。 ・大きさの等しい分数 (2/3, 4/6, 6/9) の分母どうし, 分子どうしの関係を調べて, 分数の性質を知る。	
			②約分の意味を理解し, 約分することができる。	・12/18と大きさが等しく, 分母が18より小さい分数を表すことをとおして, 約分の意味を知る。	
			③異分母の分数の大小の比べ方を考え, 通分の意味を理解する。	・3/5と2/3のような異分母の分数の大小を比べることをとおして, 通分の意味を知る。	
			④分母の公倍数に着目して, 通分することができる。	・5/6と7/8のような異分母の分数の通分のしかたを考え, もとの分母の公倍数を共通な分母にすることをまとめる。	
4	1 1 9 1 2 3	分数のたし算とひき算	⑤異分母の分数の加法の計算のしかたを理解する。	・1/2+1/3のような, 異分母の分数の加法の計算のしかたを考える。	
			⑥異分母の分数の加法の計算で約分をする場合や, 異分母の帯分数の加法の計算ができる。	・3/4+1/6のような, 答えが約分できる場合の加法の計算のしかたを考える。 ・1 5/6+2 2/3のような, 帯分数の加法の計算のしかたを考える。	
			⑦異分母の分数の減法の計算のしかたを理解する。	・2/3-1/2のような, 異分母の分数の減法の計算のしかたを考える。	・予習で, p.122の葉8に取り組み, 異分母の分数の減法の計算に自分なりに取り組む。 ・授業では, 予習をもとに計算のしかたについての発表・話し合いから取り組み, p.123の葉9, 葉10までの第7・8時を1時間で指導することが考えられる。
			⑧異分母の帯分数の減法の計算や, 3口の異分母の分数の加減混合の計算ができる。	・3 1/4-1 1/2のような, 帯分数の減法の計算のしかたを考える。 ・2/3+1/2-3/4のような, 3口の分数の加減混合の計算のしかたを考える。	・授業後に, [以外]の学習活動としてp.122, 123の□16～□21に取り組む。数日に分けて取り組むことも考えられる。
1 (0)	1 2 4 5	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

9 平均

10月上旬～中旬（6時間⇒5時間＋〔以外〕）

p.126～135

◆単元の目標と評価規準

○平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、平均を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(2)ア(ア), D(2)イ(ア)】

- ・いくつかの数量を同じ大きさの数量にならすことで妥当な数値が得られる場合は、測定値を平均するとよいことを理解し、平均を求めることができる。<知・技>
- ・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・平均について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
4	1 2 6 1 3 2		①②平均の意味と求め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「1回につかめた数はいくつ？」の活動をきっかけに、ばらつきのあるブロックの数を等しくそろえることに関心をもち、「ならす」という意味を知る。 ・5個のオレンジから絞ったジュースの量をならすことをとおして、平均の意味と求め方を知る。 ・オレンジ1個から絞れるジュースの量の平均と、絞る個数から、総量を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1時の授業では、p.128の「なるほど！」までを扱う。 ・第1時の授業後に、〔以外〕の学習活動としてp.129の□1に取り組む。 ・第2時の授業では、p.129の△2、及びp.130の葉2までを扱い、第1・2・3時を2時間で指導することが考えられる。 ・第2時の授業後に、〔以外〕の学習活動としてp.129の□2、□3に取り組む。また、p.130の「とびぬけた数があるときは」を読み、気づいたことをノート等にまとめる。
			③平均した値と実際の測定値の違いに着目し、平均の意味と求め方について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・5個のオレンジから絞ったジュースの量の平均と、追加でもう1個絞ったジュースの量をもとに、オレンジ6個から絞れるジュースの量の平均の求め方を考える。 	
			[とびぬけた数があるときは]	<ul style="list-style-type: none"> ・目的によっては、飛びぬけて大きかったり小さかったりする値は含めずに平均を求める場合があることを知る。 	
			④調べた結果の中に0が含まれる場合の平均の求め方を考え、平均の意味と求め方について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・5試合の得点の中に0が含まれる場合の平均の求め方を考える。 ・サッカーの得点のように小数では表せない数量も、平均では小数で表す場合があることを知る。 	
			[平均を求めるときのくふう]	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな数の平均を求めるとき、きりのよい数を基準として、それより大きい部分に着目して計算すると効率よく求められることを知る。 	
1	1 3 3	学んだことを使おう	⑤日常生活の場面と関連づけて、平均の考え方や求め方を活用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「校舎の長さをはかろう！」という目的意識から、校舎の端から端までの長さを調べる場面で、歩幅の平均を用いておよその距離を測るしかたを考える。 	
1 (0)	1 3 4 5	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〔以外〕の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

■ 奇数と偶数に分けて

10月中旬（1時間）

p.136

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 3 6		①煩雑な計算を必要とする場面で、式や図に表してきまりを見つけて解決することをおして、論理的な思考力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・1から100までの100個の整数を奇数と偶数に分け、それぞれを合計した数の差の求め方を考える。 	

◎ ふくしゅう④

		学習活動
1	・「小数のかけ算」「小数のわり算」「整数の見方」「分数の大きさとたし算、ひき算」の復習をする。	
3		
7		

10 単位量あたりの大きさ

10月中旬～11月上旬（12時間⇒11時間+[以外]
p.138～156

◆単元の目標と評価規準

○異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解するとともに、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】

- ・速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。<知・技>
- ・異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	1 3 8 1 4 6	単位量あたりの大きさ	①②単位量あたりの大きさの意味と求め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どちらがこんでいるかな？」の活動をきっかけに、プールの場面絵を見て、混みぐあいに関する数量に関心をもつ。 ・部屋の混みぐあいについて、1㎡あたりの人数や1人あたりの面積などを求めて比べることをとおして、単位量あたりの大きさの意味を知る。 	
			[友だちのノートを見よう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	・授業後に、[以外]の学習活動としてp.142～143を読み、ノートの書き方を確認する。
			③人口密度の意味と求め方を理解する。★	・2つの区の混みぐあいについて、1km ² あたりの人数を求めて比べることをとおして、人口密度の意味を知る。	
			④混みぐあい以外の数量の関係についても、単位量あたりの大きさ求めて比べることができる。	・2つの畑の面積とじゃがいもの収穫量から、どちらの畑がよくとれたかを単位量あたりの大きさを求めて比べる。	
			[算数のミカタ]	・2つの量が関係するものを比べるとき、どちらか一方をそろえて比べるという見方をしたことを振り返る。	
			⑤単位量あたりの大きさを求めて、その値を用いて解決する2段階の問題に取り組み、理解を深める。	・5mの重さが200gの針金について、1mあたりの重さを求める。また、その値をもとに2.3mの重さを求める。	
		[「単位量あたり」を見つけよう]	・身のまわりには、「単位量あたり」の考えを用いて、100gあたりや200mLあたりなどの値で表示されたものがあることを知る。		

5	1 4 7 5 1 5 3	速さ	⑥速さの意味と求め方を理解する。	・3台の自転車の速さ比べの場面をとおして、速さは、1分間あたりに進む道のりや1km進むのにかかる時間で比べられることを知る。	
		⑦速さの表し方を理解し、求めることができる。	・新幹線の1時間あたりに進む道のりを求めることをとおして、速さは単位時間あたりに進む道のりで表すことを知り、速さ＝道のり÷時間の関係を知る。 ・速さは単位時間によって、時速、分速、秒速の表し方があることを知る。		
		⑧時間や道のりの単位が異なる場合に、単位をそろえて速さを比べることができる。	・4分間で720m進むロープウェイと50秒間で350mの高さまで上がるエレベーターの速さを、単位をそろえて比べる。		
		⑨速さと時間から道のりを求めることができる。	・高速道路を走る自動車の速さと時間から道のりを求めるしかたを考え、道のり＝速さ×時間の関係を知る。		
		⑩速さと道のりから時間を求めることができる。	・高速道路を走る自動車の速さと道のりから時間を求めるしかたを考え、時間＝道のり÷速さの関係を知る。		
1	1 5 4	学んだことを使おう	⑪待ち合わせにまにあうかどうかを考える場面で、与えられた条件から必要な速さ、道のり、時間を求めて判断することができる。	・「駅で待ち合わせをしよう！」という目的意識から、歩く速さをもとに道のりを調べたり、待ち合わせの時刻にまにあうかを考えたりする。	
1 (0)	1 5 5 5 1 5 6	まとめ	⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
		[かみなりの音はどうしておくれて聞こえるの?](p.281)★	・選択的活動として、雷の音が遅れて聞こえる理由を考えたり、雷までの距離を求めたりする。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。	

★まなびリンク 資料「国や都道府県、市町村の人口と面積(総務省統計局)」

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:かみなりの音はどうしておくれて聞こえるの?」

11 わり算と分数

11月上旬～中旬 (6時間⇒5時間+[以外])
p.157～165

◆単元の目標と評価規準

○整数の除法の結果を分数で表すことを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができるとともに、分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)、A(4)イ(イ)】

- ・整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。<知・技>
- ・分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。<思・判・表>
- ・分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
		(商を表す分数)	①②整数の除法の商は分数で表すことができることを理解する。	・「ぴったり分けられるかな?」の活動をきっかけに、除法でわりきれないときの商を正確に表すことに興味をもつ。 ・2Lのジュースを3等分した1つ分の量の表し方を考えることをとおして、整数の除法の商を分数で表すしかたをまとめる。	・予習で、p.157の「ぴったり分けられるかな?」に取り組み、題意を把握し、「はてな?」のフキダシについて自分の考えをもつ。 ・授業では、予習をもとにp.157の葉1から取り組み、p.159のまとめまでの第1・2時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.159の□1～□3に取り組み。また、「分数の性質とわり算のきまり」に取り組み、気づいたことをノート等にまとめる。
			[分数の性質とわり算のきまり]	・分数の性質とわり算のきまりを比べて、共通点を考える。	

5	1 5 7 { 1 6 3	(分数と小数, 整数)	③分数を小数で表すしかたを理解し, 分数と小数の大小を比べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・3mのテープを5等分した1本分の長さを分数と小数で求め, $3/5=0.6$の関係を知る。 ・$5/4$と1.2の大小を比べることをとおして, 分数を小数で表すしかたをまとめる。 	
		(分数倍)	④小数や整数を分数で表すしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・0.3や1.47を分数で表すことをとおして, 小数を分数で表すしかたをまとめる。 ・7や15を分数で表すことをとおして, 整数を分数で表すしかたをまとめる。 	
			⑤何倍かを表す数が分数になる場合があることを理解する。(分数倍)	・4mや2mは3mの何倍かを求めることをとおして, $4/3$ 倍, $2/3$ 倍のように何倍かを表す数が分数になる場合があることを知る。	
			[分数の意味]	・分割分数, 量分数, 商分数, 分数倍など, これまでに学習した分数の意味について整理する。	
1 (0)	1 6 5 {	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。	・単元のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

■ 九九の表を調べよう

11月中旬 (1時間)
p.166

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 6 6		①九九表のきまりについて平均の学習などを活用して説明する活動をおとして, 論理的な思考力を伸ばす。★	・九九表の答えの総和の求め方を考えたり, たすきがけで斜めにかけて答えが同じになる理由を考えたりする。	

★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」

◎ ふくしゅう⑤

頁	学習活動
1 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・「平均」「単位量あたりの大きさ」の復習をする。 ・単元12「割合」に関わる既習事項を確認する。

12 割合

11月中旬～12月上旬 (13時間⇒12時間+[以外])
p.168～183

◆単元の目標と評価規準

○ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや, 百分率を用いた表し方を理解するとともに, その意味や求め方を図や式などを用いて考える力を身につける。また, その過程において, 多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や, 学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(3)ア(ア)(イ), C(3)イ(ア)】

- ・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや, 百分率を用いた表し方を理解し, 割合などを求めることができる。<知・技>
- ・日常の事象における数量の關係に着目し, 図や式などを用いて, ある2つの数量の關係と別の2つの数量の關係との比べ方を考察し, それを日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・割合について, 数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 6 8 5 1 8 0	(割合の表し方)	①②小数で表される場合の割合の意味と表し方、割合を用いた比べ方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「シュートがよく入ったのはどちらかな？」の活動をきっかけに、どのような場合によく入ったといえるのかを考え、差ではなく割合に着目するとよい場合があることに気づく。 ・誰がよく入ったといえるかを考えることをとおして、小数で表される場合の割合の意味と求め方を知る。 ・投げた回数(基準量)と割合から、入った回数(比較量)を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習で、p.168の「シュートがよく入ったのはどちらかな？」に取り組み、題意を把握し、自分の考えをもつ。 	
		(百分率)	③資料の全体と部分の大きさの関係や、部分と部分の大きさの関係を、割合を用いて表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生50人のうち、男子が20人、女子が30人の場面で、5年生全体を基準量とするときの男子の割合、女子の割合をそれぞれ求める。 ・女子を基準量とするときの男子の割合や、男子を基準量とするときの女子の割合を求める。 		
			④百分率の意味と表し方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生112人のうち84人が「算数が好き」と答えたアンケートの場面をとおして、百分率の意味を知り、「パーセント(%)」を用いて割合を百分率で表す。 		
			⑤百分率が100%を超える場合を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・電車の乗車率の場面で、百分率が100%よりも大きくなる場合があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、p.174の葉4、及びp.175の葉5を扱い、第5・6時を1時間で指導することが考えられる。 	
			⑥歩合の表し方「割」の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・試合数に対する勝ち数の割合を表す場面で、割合を表す0.1を、歩合の表し方で「1割」と表す場合があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.174の□5、□6に取り組む。また、p.175の「歩合の表し方」を読む。 	
			[歩合の表し方]	<ul style="list-style-type: none"> ・割合の表し方として歩合(「割」「分」「厘)」があることを知る。 		
			(百分率を使って)	⑦基準量と割合をもとに、比較量を求めることができる。(第二用法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアをしたことがある人の割合を調べた場面で、基準量と割合から比較量を求めるしかたを考える。 	
				⑧比較量と割合をもとに、基準量を求めることができる。(第三用法)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の児童数を調べた場面で、比較量と割合から基準量を求めるしかたを考える。 	
				⑨割合を(1±a)とみる場合について理解し、基準量と割合をもとに、比較量を求めることができる。(第二用法)	<ul style="list-style-type: none"> ・4000円の30%引きの値段の求め方を考える。 	
				⑩⑪割合を(1±a)とみる場合について理解し、比較量と割合をもとに、基準量を求めることができる。(第三用法)	<ul style="list-style-type: none"> ・定価20%引きの値段が1800円のとときの、定価の求め方を考える。 ・30%増量後の長さが130cmの手芸用のテープの、もとの長さの求め方を考える。 	
		[広告で問題づくり]	<ul style="list-style-type: none"> ・割引表示のある広告などを使って、いろいろな割合の問題を作る。 			
1	1 8 1	学んだことを使おう	⑫日常生活の場面の問題解決に割合を活用し、判断の理由を言葉や式などを用いて説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「お得な買い方を考えよう！」という目的意識から、購入する弁当の種類や個数によって、2割引きの店と350円引きの店ではどちらが安くなるかを考え説明する。 		
1 (0)	1 8 2 3	まとめ	⑬学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。 	

13 割合とグラフ

◆単元の目標と評価規準

○帯グラフと円グラフ及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)(イ), D(1)イ(ア)】

- ・円グラフや帯グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。<知・技>
- ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。<思・判・表>
- ・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	1 8 4 5 1 9 1	(帯グラフと円グラフのかき方)	①②帯グラフ、円グラフのよみ方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「グラフで『いちばん』を伝えよう！」の活動をきっかけに、ももの収穫量が多いことをグラフで伝えることに興味をもつ。 ・ももの収穫量を表す棒グラフをよみ取るとともに、割合についてもグラフで表すことに興味をもち、帯グラフと円グラフのよみ方を知る。 	
			③④帯グラフ、円グラフのかき方を理解する。 ★	<ul style="list-style-type: none"> ・ももの収穫量の割合を百分率で表し、それを帯グラフ、円グラフに表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習で、p.188の葉2に取り組み、各県の割合を求めて表に記入する。 ・授業では、予習をもとに帯グラフや円グラフのかき方から扱い、p.189までの第3・4時を1時間で指導することが考えられる。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.189の□2に取り組む。
			⑤複数の帯グラフを比べて、データを正しくよみ取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリーの収穫量の割合の年次変化を表す複数の帯グラフを見て、割合をよみ取ったり、割合と合計量から県別の収穫量を求めたりする。 ・異なる年の収穫量を比較することをおして、合計量が異なっている場合は、見ための割合の大きさだけでは比較できないことを説明する。 	
		[いろいろなグラフに表してみよう]	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを使うと、1つのデータから円グラフや棒グラフ、折れ線グラフなどのいろいろなグラフを表せることを知る。 		
1	1 9 2 3 5	学んだことを使おう	⑥統計的な問題解決の方法を理解する。★	<ul style="list-style-type: none"> ・「疑問に思ったことを調べてみよう！」という目的意識から、オリンピックで日本が獲得したメダル数を調べてポスターを作る場合を例にして、統計的な問題解決の方法を知る。 	
1 (0)	1 9 4 5 1 9 5	まとめ	⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[算数でスポーツを楽しもう！](p.282) ★	<ul style="list-style-type: none"> ・選択的活動として、スポーツの世界でも表やグラフが活用されていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

- ★まなびリンク シミュレーション「帯グラフツール」「円グラフツール」
- ★まなびリンク 資料「都道府県の特産物(農林水産省)」
- ★まなびリンク 資料「身のまわりのデータ(総務省統計局)」
- ★まなびリンク 資料「オリンピックで日本がメダルを獲得した数(日本オリンピック委員会)」
- ★まなびリンク ワークシート「広がる算数:算数でスポーツを楽しもう！」

■ 四角形の関係を調べよう*

12月下旬 (1時間)

p.196

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	196		① 基本的な四角形の性質の相互関係を調べ、平面図形についての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な四角形(台形, 平行四辺形, ひし形, 長方形, 正方形)について, 辺の位置関係や相等関係, 直角の有無という条件にあてはまるかどうかを表に整理する。 基本的な四角形の相互関係をベン図に表せることを知る。 	

◎ ふくしゅう⑥

頁	学習活動
197	・「わり算と分数」「割合」の復習をする。

14 四角形や三角形の面積

1月上旬～2月上旬 (16時間⇒15時間+[以外])

p.198～221

◆単元の目標と評価規準

○四角形や三角形の面積の計算による求め方を理解するとともに, その方法を図や式などを用いて考えたり, 公式を導いたりする力身につける。また, その過程において, 面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)イ(ア), B(3)ア(ア), B(3)イ(ア), C(1)ア(ア)】

・平行四辺形, 三角形, 台形, ひし形の面積の計算による求め方について理解し, それらの面積を公式を用いて求めることができる。
 <知・技>

・図形を構成する要素などに着目して, 基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに, その表現を振り返り, 簡潔かつ的確な表現に高め, 公式として導いている。<思・判・表>

・四角形や三角形の面積について, 数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
		(平行四辺形の面積)	① 平行四辺形の面積の求め方を理解する。 ★	<ul style="list-style-type: none"> 「面積は変わるのかな?」の活動をきっかけに, 周りの長さが等しい長方形と平行四辺形を比較し, 平行四辺形の面積を求めることに興味をもつ。 平行四辺形の面積の求め方を, 長方形の面積などをもとにして考える。 	
			② 平行四辺形の面積の公式を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の構成要素に着目し, 面積を計算で求めるしかたを考える。 底辺と高さについて知り, 平行四辺形の面積の求め方を公式にまとめる。 	
			③ 高さが図形の外にある場合の平行四辺形の面積の求め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 高さが図形の外にある場合の平行四辺形の面積の求め方を考えることをとおして, 平行四辺形の高さは図形の外側にとることもできることを知る。 	
			④ 平行四辺形の底辺と高さの関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 形は異なるが底辺と高さが等しい平行四辺形の面積を求めることをとおして, 底辺と高さが等しければ面積も等しくなることを知る。 	
			[算数のミカタ]	<ul style="list-style-type: none"> 面積の求め方を考えるとき, 面積の求め方がわかる形に変えるという見方をしたことを振り返る。 	

1 4 8	(三角形の面積)	⑤ 三角形の面積の求め方を理解する。★	・三角形の面積の求め方を、長方形や平行四辺形の面積などをもとにして考える。		
		⑥ 三角形の面積の公式を理解する。	・三角形の構成要素に着目し、面積を計算で求めるしかたを考える。 ・底辺と高さについて知り、三角形の面積の求め方を公式にまとめる。		
		⑦ 高さが図形の外にある場合の三角形の面積の求め方を理解する。	・高さが図形の外にある場合の三角形の面積の求め方を考えることをとおして、三角形の高さは図形の外側にとることもできることを知る。		
		⑧ 三角形の底辺と高さの関係を理解する。	・形は異なるが底辺と高さが等しい三角形の面積を求めることをとおして、底辺と高さが等しければ面積も等しくなることを知る。		
		[三角形に変身]	・底辺の長さが高さが等しい三角形は面積も等しいことを用いて、四角形を、面積を変えずに三角形に変形するしかたを考える。		
		(高さとの関係)	⑨ 底辺が一定の三角形について、高さとの関係を○、△を用いた式に表して調べ、面積は高さに比例することを理解する。	・底辺が4cmの三角形の高さ○cmと面積△cm ² の関係を式に表し、○と△の関係を表に表して調べる。 ・底辺が一定の三角形の面積は高さに比例することを知る。	
		(いろいろな図形の面積)	⑩ 台形の面積の求め方を理解する。★	・台形、ひし形、一般四角形の面積の求め方について見直しをもつ。 ・既習の面積の求め方を活用して、台形の面積の求め方を考える。	
			⑪ 台形の面積の公式を理解する。	・台形の構成要素として上底、下底、高さについて知り、台形の面積の求め方を公式にまとめる。	
			⑫ ひし形の面積の求め方、面積の公式を理解する。	・既習の面積の求め方を活用して、ひし形の面積の求め方を考える。 ・ひし形の対角線に着目して、ひし形の面積の求め方を公式にまとめる。	
			⑬ 一般四角形の面積の求め方を理解する。	・既習の面積の求め方を活用して、一般四角形の面積の求め方を考える。	
	[三斜法]	・土地の面積を求める際に、多角形を三角形に分割して求める「三斜法」という方法があることを知る。			
	(およその面積)	⑭ 方眼を使った不定形の面積の求め方を理解する。	・葉のような形のおよその面積を、方眼を使って求める。		
1	2 1 9	学んだことを使おう	⑮ 長方形について見いだした性質がほかの図形でも成り立つかを考え説明し、面積の公式についての理解を深める。	・教科書p.211の□11の長方形は、4つの三角形に面積が等分されていることを確認する。 ・「形が変わるとどうなる？」という目的意識から、平行四辺形を同じようにして4つの三角形に分け、それらの面積が等分されていることを説明する。	
1 (0)	2 2 0 2 2 1	まとめ	⑯ 学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
		[面積の公式はつながっている？](p.283)★	・選択的活動として、既習の面積の公式を振り返り、台形の上底が0cmの場合を三角形とみたり、上底=下底の場合を平行四辺形とみたりすることで、それらの面積の公式のつながりを考える。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。	

★まなびリンク シミュレーション「平行四辺形の面積の求め方」「三角形の面積の求め方」「台形の面積の求め方」

★まなびリンク ワークシート「広がる算数：面積の公式はつながっている？」

2月上旬～下旬（11時間⇒10時間+[以外]
p.222～238

15 正多角形と円

◆単元の目標と評価規準

○正多角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円周率について理解し、円周の長さや直径の長さの求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)イ(ア), B(1)ア(ウ)(エ), B(1)イ(ア), C(1)ア(ア)】

- ・円と関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作図することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。<知・技>
- ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。<思・判・表>
- ・正多角形と円について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	2 2 2 2 9	正多角形	①正多角形の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんな形ができるかな？」の活動をきっかけに、円形の紙で作った整った形(正多角形)の特徴に関心をもつ。 ・多角形(正六角形, 正八角形, 正方形)の特徴を調べ、正多角形の意味を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1時の前の予習で, p.222～223の「どんな形ができるかな？」に取り組む。 ・第1時の授業では, 予習をもとにp.223の葉1から取り組み, p.225の葉2△1の正八角形の中心角の求め方までを扱う。 ・第2時の前の予習で, 正八角形の作図に自分なりに取り組む。 ・第2時の授業では, 予習をもとに正八角形の作図の指導から扱い, p.226の葉3, 及び□2までの第1・2・3時を2時間で指導することが考えられる。 ・第2時の授業後に, [以外]の「はってん」扱いの学習活動としてp.226の「おうぎ形」を読む。
			②③円と組み合わせる正多角形を作図するしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・円の中心の周りの角を等分する方法で, 正八角形をかき。 ・円の中心の周りの角を等分する方法で, 正六角形をかき。 	
			[おうぎ形]*	・おうぎ形, 中心角について知る。	
			④円の半径の長さを用いて正六角形を作図し, 正多角形と円の関係について理解を深める。	・円の周りを半径の長さで区切る方法で正六角形をかき, その方法でかける理由を考える。	
			[時計でできる正多角形]	・時計の文字盤の数字を1時間ごと, 2時間ごと, 3時間ごと, …に結ぶと正多角形がかけることを知る。	
		⑤[プログラミングに挑戦しよう]★	・コンピュータを活用して, 正多角形の作図手順を正しくプログラミングすることで, 指示通りに作図できることを体験する。		
4	2 3 0 5	円周の長さ	⑥直径の長さから円周の長さの関係を調べ, 円周率の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさの異なるタイヤを1回転させて進む長さを予想し, 直径の長さから円周の長さの長さの関係について見通しをもつ。 ・いろいろな円の直径の長さから円周の長さを調べることをとおして, 円周÷直径は一定であることに気づき, 円周率の意味, 円周率=円周÷直径の関係を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習で, p.230の葉5△1に取り組む, いろいろな円の直径の長さから円周の長さを調べる。 ・第6時の授業後に, [以外]の学習活動としてp.233の□3に取り組む。 ・第7時の授業では, p.232の葉6, 及びp.233の葉7を扱い, 第7・8時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に, [以外]の学習活動としてp.233の□4, □5に取り組む。
			⑦直径の長さから円周の長さを求めることができる。	・直径が100mの円の円周の長さの求め方を考え, 円周=直径×円周率の関係を調べる。	
			⑧直径と円周の関係を調べ, 円周の長さは直径の長さに比例することを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・直径の長さ○cmと円周の長さ△cmの関係を表に表し, ○と△の関係を表に表して調べる。 ・円周の長さは直径の長さに比例することを調べる。 	

			⑨円周の長さから直径の長さを求めることができる。	・円周が145cmの円の直径の長さの求め方を、円周＝直径×円周率の関係をもとに考える。	
			[周りの長さをはかって]	・木の幹の直径のように測定しにくいところの長さを、直径と円周の関係を用いて概測するしかたを考える。	
1	2 3 6	学んだことを使おう	⑩日常生活の場面の問題解決に円周率についての学習を活用するとともに、式に着目して筋道を立てて考えることができる。	・「スタートの位置を決めよう！」という目的意識から、グラウンドに100m走のコースをかくとき、スタートの位置を何mずつずらせばよいかを考える。	
1 (0)	2 3 7 (2 3 8	まとめ	⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
		[円周率はどこまで続くの?](p.284)★	・選択的活動として、円周率がどのようにして求められてきたかを知り、実際に、円に外接する正方形と内接する正六角形の周りの長さを調べてみる。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。	

★まなびリンク シミュレーション「プログラミング 正多角形の作図」

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:円周率はどこまで続くの?」

◎ ふくしゅう⑦

頁		学習活動
2	3	・「割合とグラフ」「四角形や三角形の面積」「正多角形と円」の復習をする。
9		

16 角柱と円柱

2月下旬～3月上旬 (6時間⇒5時間+[以外])
p.240～248

◆単元の目標と評価規準

○角柱や円柱について理解し、図形の性質を見いだしたり、その性質をもとに既習の図形を捉え直したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(2)ア(ア), B(2)イ(ア)】

- ・角柱や円柱について理解し、見取図や展開図を作図したり、展開図をもとに構成したりすることができる。<知・技>
- ・図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。<思・判・表>
- ・角柱や円柱について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	2 4 0 (2 4 6		①角柱、円柱の意味を理解する。★	・「箱の形をなかま分けしよう！」の活動をきっかけに、直方体、立方体とそれ以外の立体に分類し、その特徴について関心をもつ。 ・直方体、立方体ではない箱の特徴を調べることをとおして、角柱、円柱について知る。	
			②角柱、円柱の底面、側面の特徴を理解する。★	・角柱、円柱の底面、側面を知り、その特徴を調べる。	・予習で、p.242～243の葉2△1に取り組み、角柱と円柱の底面、側面の形を調べてノートにまとめる。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。
			③角柱の構成要素(頂点、辺、面)について理解を深める。	・三角柱、四角柱、五角柱、六角柱の頂点、辺、面の数を表に整理し、それらのきまりを調べる。	・授業では、底面、側面の意味を確認するとともに、予習をもとに発表・話し合いから取り組み、p.244の葉3までの第2・3時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.244の□1に取り組む。

		(見取図と展開図)	④角柱の見取図, 展開図をかくことができる。	・角柱の見取図, 展開図をかく。	
			⑤円柱の展開図をかくことができる。	・円柱を展開図に表すときの側面の形や大きさを考え, 円柱の展開図をかく。	
1 (0)	2 2 4 4 7 8 5	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

★まなびリンク シミュレーション「立体の観察ツール」「角柱・円柱の観察ツール」

■ 同じ面積に分けよう

3月上旬 (1時間)
p.249

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	2 4 9		①長方形などを同じ面積の2つの形に分ける方法を考え, 図形についての感覚を豊かにする。	・長方形を同じ面積に2等分する方法を考える。また, その方法を発展させて, 長方形を組み合わせた形を2等分する方法を発展的に考える。	

● 算数を使って考えよう

3月中旬 (2時間)
p.250~253

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	2 5 0 5 3	(和食でおもてなし)	①②知識・技能等を活用し, 課題解決のための構想を立て, 筋道を立てて考えたり, 数学的に表現したりすることができる。★	・和食や外国人旅行者に関するグラフから必要な情報をよみ取り, 説明する。また, 資料のよみ取りについて, はるさんの話が正しいかどうかを判断し, 理由を説明する。	
		(割引券)		・50円引きと10%引きの2種類の割引券を持っている場面で, 購入する商品によって, どちらの割引券を使うほうが安くなるかを考え説明する。 ・20%増量後の量が300mLのドリンクの, もとの量の求め方を考える。 ・50円引きと10%引きのどちらの割引券を使うほうが安くなるかを説明した文章を読み, 不十分なところを補い説明しなおす。	

★まなびリンク 資料「和食文化についてのデータ(農林水産省)」

◎ 5年のまとめ

3月中旬 (2時間⇒0時間+[以外])
p.254~257

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2 (0)	2 2 5 4 7 5		①②第5学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算, 図形, 変化と関係, データの活用についての問題に取り組む。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。